

教育に資する団体会員創設(案)

教育に資する団体会員創設（案）

背景：現在の会員数の構成は、個人会員：708名、団体会員：218社（950.5口）、準会員4名となっている。

しかしながら、教育・研究に携わっている機関で、団体会員であるのは、大学は1校、高等学校は5校、高等専門学校は1校、の合計7校にとどまっており、日本建築協会の活動が、当該分野において、幅広く知られるところとなっていない。

また、1917（（大正6）年の創刊から今年6月で第1227号となった「建築と社会」誌は、すべてのバックナンバーがデジタルアーカイブ化された貴重な建築史資料であり、学術研究でのさらなる活用が期待される。

以上から、新たな団体種別の団体正会員名の検討を行った、

参考：教育に資する団体会員の主なメリット

- ユニークで新鮮な内容を誇る協会誌「建築と社会」が毎月届く。
- 教育機関に所属する教員、学生、生徒皆様が、協会誌「建築と社会」すべてのバックナンバー（アーカイブ資料）をWebで閲覧でき、各人の、研究、研鑽に活かすことができる。
- 話題の建築物や一般では未公開の施設等の見学会や建築関係の著名な講師の講演会に会員割引で参加できる。
- 協会所蔵の建築関係の貴重な図書・資料の閲覧等ができる。
- 協会ホームページでの「会員様からのお知らせ」へ投稿することができる。
- 協会誌「建築と社会」に建築作品、研究報告、レポート、ニュース等を投稿できる。
- 「建築科優秀卒業 学生・生徒」の表彰制度の対象校になる。

以上